

【News】 第 51 回国立大学臨床検査技師教育協議会

平成 26 年 5 月 23 日（金）、筑波大学（会長校）が当番校として、大学会館（3F 第 3 特別会議室）にて、第 51 回国立大学臨床検査技師教育協議会が開催された。20 大学から 56 名の参加者（出席・陪席・列席の総数）があり、天候にも恵まれ盛況の内に終えることができた。

（参加校）

北海道大学、弘前大学、東北大学、群馬大学、東京医科歯科大学、新潟大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、鳥取大学、岡山大学、山口大学、徳島大学、九州大学、熊本大学、琉球大学、筑波大学

議事に先立ち、当番校である筑波大学医学群長 原晃教授から開会の挨拶あった。続いて、筑波大学医学群医療科学類長 二宮治彦教授が議長に選出され、議事開始となった。まず、出席者の自己紹介が行われた。次に、平成 25 年度の事業報告および収支決算報告、学部卒業生・大学院修了生の進路状況調査報告等があった。議題としては、平成 26 年度の役員選出、予算案、教育施設の専門分野別評価、国立大学臨床検査技師教育施設の臨床検査学分野における中核戦略、臨床検査残存検体の教育的利用等があげられ、活発な議論が行われた。最後に、照合事項として、大学院進学率、大学院進学率向上のために行っている方策、編入生の受

け入れ状況、学生実習における個人情報の取り扱い等について各大学からの説明があった。



開会の挨拶
原晃教授
（筑波大学医学群長）



議事進行
二宮治彦教授
（筑波大学医学群医療科学類長）

（平成 26 年度役員校）

会長校：筑波大学

幹事校：名古屋大学（前会長校）、山口大学（次会長校）、神戸大学

代表幹事校：北海道大学

会計幹事校：東京医科歯科大学、群馬大学



(参加者の活発な議論)

総会終了後は、大学会館 1F レストラン・プラザにて懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中、臨床検査技師教育のために有意義な情報交換が行われた。

来年は山口大学が当番校として 5 月に開催される予定である。



(懇親会の様子)

筑波医療科学 第10巻 第1号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
発行日	2014 年 6 月 30 日